

2022年度 富士小校区防災訓練 報告書

訓練実施日:2022/11/13
富士が丘防災部会

無事カード掲出による安否確認集計

地区	総世帯数	空家等	集計対象世帯数	カード掲出世帯	カード未掲出世帯	カード掲出率	(参考)前年度掲出率	備考
富士が丘1丁目	399	19	380	335	45	88.2%	86.6% (337/389)	
富士が丘2丁目	230	8	222	183	39	82.4%	80.8% (189/234)	
富士が丘3丁目	475	15	344	202	142	58.7%	52.0% (185/356)	ディアコルモは同じ日に独自の訓練があり、自治会加入世帯のみを対象とした
富士が丘4丁目	227	25	202	158	44	78.2%	78.1% (171/219)	都合により確認作業が出来ない班があった
富士が丘5丁目	189	3	186	171	15	91.9%	77.1% (145/188)	
富士が丘6丁目	290	28	262	219	43	83.6%	78.5% (208/265)	
池尻区	51	1	50	23	27	46.0%	36.0% (18/50)	
上深田区								
合計	1861	99	1646	1291	355	78.4%	73.4% (1249/1701)	

活動内容・気づいた点・今後の課題(防災部会での意見より)

★活動内容等

- ・1ヶ月前にポータルサイト及び訓練チラシを全戸配布し、約1週間前に回覧で呼びかけ
- ・約2週間前にゴミステーションに「訓練告知」カードを掲示
- ・当日、各地区会長(6名)によるデジタル無線機を使用した交信テスト
- ・当日、地域巡回アナウンスの実地(1丁目、6丁目)
- ・無事カードの確認による安否確認(非掲出世帯には、インターフォンによる声掛けを実施)
- ・各地区の状況の報告(確認世帯数、無事カード掲出世帯数)
- ・班長による「安否確認用紙」の模擬記入

★各地区の意見・コメント

1丁目:

- ・災害発生時、インターフォン応答のない家庭への対応をどうするかが課題と思う。
- ・ハンドマイクでの周知は、有効だと感じました。
- ・メロディハイムの管内放送立ち合いは有意義でした。(室内の家族と確認がとれる)

2丁目:

- ・日頃からの防災意識の高揚・維持に向けて、防災訓練は必要と考えます。
- ・更に実際に災害が起こった時の実働状態にいかにか近づけるかが、今後の訓練に向けての一つの課題と考えます。
- ・過去の防災訓練の成果によりカードの掲出は13/14と高い。今後はカード提出条件や掲載内容等の精査が必要。

3丁目:

- ・事前連絡の徹底により順調に訓練が終了した。
- ・事前連絡していたが、無事カードの掲出は少なかったと思う。
- ・訓練日を自治会でカンパ配布の際にお伝え出来た家は掲出率が高かった。
ゴミステーションの告知に掲出時間等の表記も必要かも。
- ・夜間に災害発生時は、安否確認の実施は大変だと思う。互いに両隣の安否を確認し、報告することも大事と思う。
- ・無事カードの掲示が半数以下でまだまだ意識が低いと感じた。
- ・災害時に無事カードが出ていない(被災している)世帯に対して、どう対応すれば良いのか?
- ・無事カード掲出100%は難しい、防災放送が出来るようなアナログなシステムも必要ではないか?

4丁目: ありませんでした

5丁目:

- ・無事カードによる安否確認シートは、訓練時には事前に用意してあるためよいが、実際の災害時にはないためどうやって確認するのかと質問があった。
- ・班長が不在や被災したときの対応を検討すべきと思う

6丁目:

- ・防災グッズの準備と活用を忘れない。
- ・自治会防災会での備蓄も必要だが、各家庭での食料・水・グッズの備蓄が大切と思う。
- ・若い人達は無関心？また高齢者は理解していないようです。
- ・災害はいつ起こるか分からないので、夜でも対応できるようにヘルメットにライトを付けるべき。また食料や水の備蓄も必要。
- ・訓練の事前通知が行きわたった結果、無事カードの掲出率は良かった。安否確認に無事カード掲出が有効と感じた。
- ・スマホの充電用備品として電源タップが必要と感じた。(2名)
- ・一時避難所である公園は、除草など日常から整備しておくことが大切と思う。
- ・来年はコロナ以前の訓練を希望。丁目毎に防災無線スピーカーや安否確認ができるシステムやアプリがあれば良いと思う。

★安否確認用紙への意見等

- ・フォームは簡単で良いと思うが、本当に情報を知るべき人はこれを書く余裕はないのではないかと思う。
- ・ライフライン状況と家屋の被災状況は、最初に正常な項目をおいてはどうか。
- ・けが人の状況とかが最重要と思う。歩行困難・歩行異常の項目が必要。視聴覚障害者の把握調査が必要では？
- ・被災状況は、時間経過により変わりそうなので、対応必要では？
- ・初めての試みであったが、各地区集合場所での用紙の保管をどうするかの問題提起があった

★気づいたことや今後の課題

- ・全体の掲出率は、78%（昨年は73%、一昨年は67%）であり、住民の意識がかなり向上していると思われる
特に、1丁目と5丁目の掲載率は極めて高い
- ・ゴミステーションへの「訓練告知」カードを貼りだしの効果もあったと思う
- ・掲出率アップは大事であるが、「無事カード」掲出の意義をもっとアピールすることが重要
- ・安否確認に用いるチェックシートを日頃から防災倉庫などに整備しておく必要がある
- ・自治会加入率の低いマンションとの連携強化が必要である
- ・班長の不在や体調不良などの場合のバックアップ体制を整える必要がある
- ・夜間の安否確認のやり方も検討する必要がある

以上